

ステークホルダーへの価値提供

地域との調和を図り、豊かで持続可能な社会の実現に向けて、地域の文化やスポーツの振興、金融経済教育、業務継続体制の整備に取り組むなど、すべてのステークホルダーへの価値提供に努めています

しずおかFGのステークホルダー



地域・お客さま

文化振興を通じた豊かな地域社会の創造

しずぎんユーフォニア・コンサート

国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。入場料収入は、公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」に寄付しています。



第74回 藤田恵美(2023年1月 三島市)

しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

日本の伝統話芸である落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第27回 桂 宮治&林家つる子(2023年2月 浜松市)

ライトアップコンサート「威風堂々」

浜松市の指定有形文化財に指定されている浜松営業部本館をライトアップするとともに、営業室内でコンサートを開催しています。



浜松市立高校吹奏楽部(2022年10月)

富士山静岡交響楽団

オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表するオーケストラの活動を支援しています。



静岡銀行PRESENTS「クラシック・ポップスコンサート」(2023年5月)

未来世代

未来を描くために“今”しかできない経験の提供

金融経済教育

地域の将来を担う未来世代を対象とした銀行見学会や金融講座など、地域金融機関が地域社会に果たす役割や地域の魅力、産業等を学んでいただく機会の創出に取り組んでいます。



■ 金融講座

常葉大学と静岡産業大学で「金融講座」を開講し、静岡県経済の現況や地域金融機関が地域経済に果たす役割などを解説しています。これまでに約3,000名の大学生が受講しています。



■ しずおかキッズアカデミー

地域の子どもたちが、ふるさとの魅力や産業を楽しく学びながら郷土愛を育み、地域を担う人材へ成長することを目的に開催しています。

2022年度の取組み

オクスズ 「在来作物の植付、調理体験」
・開催日/2022年5月22日、8月5日 ・参加者/20名

稲取 「旅館での『おもてなし』、『つるし雛』体験」
・開催日/2022年6月25日、26日 ・参加者/44名

三保 「三保サーモンを知ろう」
・開催日/2022年9月10日 ・参加者/43名

With農育プロダクション by静岡農業高校
・開催日/2022年9月25日 ・参加者/130名

Yes! 家康プロジェクト浜松
徳川家康と浜松の歴史を学んでガイドさんになろう!
・開催日/2022年10月16日、11月6日、12月4日、2023年1月29日 ・参加者/51名



■ 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」静岡大会

高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」静岡大会を開催しています。

12回目を迎えた2022年度は、オンライン形式で開催。静岡県内の高校から32チーム64名が参加し、沼津東高校のチームが優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。



■ 高校生海外インターンシップに協力

静岡県教育委員会がグローバル人材の育成を目的に実施する「高校生海外インターンシップ」に協力しました。

静岡県内から26校・40名の高校生が参加し、オンラインを通じて静岡銀行の国際営業部や香港支店の行員が海外支店の業務内容や海外マーケットの現状を説明するなど、交流を図りました。



地域スポーツの振興支援



地域の子どものスポーツ活動を支援するため、「しずぎんカップ」として静岡県ユースU-11サッカー大会や静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会、全国各地から小学生が静岡に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。

また、2023年度からは、静岡県のサッカーレベルのさらなる向上をめざして発足した年間リーグ「静岡県U-12リーグ【Sリーグ】」にも協賛しています。



業務継続体制の整備



銀行業務は、その公共性の高さから、業務の継続性の確保が強く求められています。しずおかフィナンシャルグループでは、大規模災害や危険性が高い感染症の発生時にも、重要な業務を継続する、あるいは早期に再開できるよう、業務継続計画(BCP)として「非常事態対策要綱」を定め、継続的に見直しを行うことにより、非常事態の発生に備えています。

免震設備の導入など建物の地震対策や、自家発電装置の設置、非常用通信機器をはじめとする防災対策資機材の配備に加え、コンピューターシステムのバックアップ体制を整備し、非常事態発生時においても業務を迅速に再開できる体制を確保しています。

また、業務継続のための訓練やバックアップセンターの運用訓練など、さまざまな実践的な訓練を定期的に行っています。

■ しずぎん本部タワーに「非常事態対策室」を設置

しずぎん本部タワーに「非常事態対策室」を設置し、複数の通信手段や大型モニターを配備して、大規模災害やシステム障害といった不測の事態が発生した際に地域の皆さまをサポートできる体制を整えています。



防災訓練

津波対策への取組み



津波浸水想定地域内で、近隣に津波避難施設がない店舗を建て替える際は、原則、津波避難ビルに指定される建物として設計しています。津波警報発令時には、来店中のお客さまはもちろん、店舗近隣にお住まいの方、あるいは周辺を通行中の方にも避難場所としてご利用いただくことが可能です。海岸に比較的近い店舗には、お客さま用と役員用の救命胴衣を配備しています。

しずぎん本部タワーの免震設備



●**アイソレーター**
周期の短い激しい揺れを長い周期の揺れに変える装置

●**ダンパー**
建物の揺れを減らすエネルギー吸収装置



●**直動転がり支承**
水平方向の抵抗が極めて小さく地面の揺れを建物に伝えにくくする装置

■ 災害用備蓄飲料水で防災連携を強化

2022年9月の台風15号による大規模断水の影響を受け、静岡銀行では地域防災や広域連携における「共助」の機会創出に取組みました。

2023年4月には、大規模災害の発生時を想定し、円滑な飲料水の相互貸借を可能とする「水の架け橋ネットワークシステム」に全国で初めて参加しました。本ネットワークシステムは、国内最大手のアルミニウム総合メーカーである株式会社UACJが提供するプラットフォームです。



2018年7月新築の松崎支店は、松崎町より「津波避難ビル」に指定されています。



屋上へつながる外部階段

地域・株主・お客さま

地域との協働・ステークホルダーとのコミュニケーション

次世代経営者塾「Shizugin:ship」

次世代経営者塾「Shizugin:ship」は、次世代を担う経営者・後継者の皆さまに“研鑽”と“交流”の“場”を提供する会員制サービスとして、2007年4月に発足しました。

セミナー、ゼミナール、視察など各種イベントの開催や、会員専用ホームページを通じてさまざまな情報を提供するなど、会員の皆さまの事業発展に向けた活動を展開しています。

会員数

682社・1,001名
(2023年3月末現在)

活動実績

全体フォーラム …… 1回
セミナー(講演会) …… 26回
ゼミナール(勉強会) …… 14回
MBAプログラム …… 6回
特別企画
アオハルし放題 …… 1講座4回

参加者数

2022年度は51回の
イベントを開催し、
のべ1,073名の会員が参加

2022年度の主な活動内容

●全体フォーラム



〈テーマ〉
加速するデジタル変革に
企業はどう取組むのか
～デジタル人財の育成が
経営の幅を広げる～

〈講師〉
日本アイ・ピー・エム(株)
代表取締役社長 山口明夫 氏

●セミナー ～各界の第一人者による講演会～



〈テーマ〉
今の自分を超越る

〈講師〉
弁護士 菊間千乃 氏



〈テーマ〉
「ふつう」ってなんだろう?～発達障がいと生きる～

〈講師〉
エッセイスト 東京大学大学院 客員研究員 小島慶子 氏

●特別企画 静岡魅力探求プログラム「アオハルし放題」

静岡県内の中・高校生とShizugin:ship会員がチームを組み、共通のミッションに挑戦



●MBAエグゼクティブプログラム

Shizugin:shipが提供するトップマネジメントのための最上級プログラム



慶應MCC講師陣を招聘し、
のべ6日間のカリキュラムを実施

- ・経営戦略とイノベーション
- ・マーケティング戦略
- ・会計情報と経営
- ・事業戦略とファイナンス
- ・リーダーシップと意思決定
- ・個人プレゼンテーション

IR活動

IR(インベスター・リレーションズ)活動とは、企業が株主や投資家に対して投資判断に必要な経営情報などを適時かつ公平に継続して説明し、資本市場で適切な評価を受けることを目的とする活動です。

しずおかフィナンシャルグループでは、ステークホルダーの皆さまに経営方針や事業活動などを説明する機会を数多く設け、経営に対する理解を深めていただくとともに、対話のなかでいただいたご意見を適宜経営の参考としています。

(開催イベント詳細 ▶ P14)

お客さまの声

しずおかフィナンシャルグループでは、お客さまの声を業務の改善や商品・サービスの見直しにつなげています。

個人、法人を問わず、静岡銀行のホームページ「お客さまの声入力フォーム」や、営業店に備え付けの「お客さまご意見カード」など、さまざまな機会を通じて継続的にご意見・ご要望などを受付し、発生原因を踏まえた根本的な解決に取り組んでいます。お客さまからの苦情・要望は、お客さまサービス室で一元的に管理し、各業務の担当部署が改善策・再発防止策を検討する体制としています。

また、苦情事例を随時営業店に還元し、全店で発生原因などを共有することで、同様の苦情の再発防止を図っています。



【お客さまご意見カード】

ご意見・ご要望・お叱りや激励など、お客さまの声一つひとつに耳を傾け、グループのサービス・接客対応の向上につなげています。2021年度より静岡銀行のホームページ「お客さまの声入力フォーム」へアクセス可能な二次元コードを印字しました。お客さまご意見カードは、店舗ロビーやATMコーナーなどに設置しています。